

**平成 29 年(2017 年)度(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員
養成講習会・検定試験開催要項**

- 1 目 的 水泳指導員の養成とその充実を図り、水泳の普及と発展に資するため、(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員規則(平成 17.4.1)に基づき基礎水泳指導員養成講習と資格検定を行い、指導者の資質と技術の向上を図り指導者を養成する。
- 2 主 催 公益財団法人日本水泳連盟
- 3 主 管 一般財団法人北海道水泳連盟普及委員会
- 4 後 援 北海道教育委員会(予定)
- 5 期 日
 - 講習会 第1期 平成29年8月11日(金) 12日(土) 13日(日)
 - 第2期 平成29年11月4日(土)
 - 検定試験 平成29年11月5日(日)
- 6 会 場 札幌市平岸プール 札幌市豊平区平岸5条14丁目 ☎011-832-7529
- 7 講習内容
 - 学 科 ①水泳と生活・歴史 ②水泳の科学 ③水泳指導者・水泳指導法
 - ④水泳の管理と安全対策 ⑤競泳競技規則と審判法
 - 実 技 ①基礎及び実践技術(4泳法, 潜行, 個人メドレー) ②日本泳法(横泳ぎ)
 - ③個人・集団の指導実習 ④現場における心肺蘇生
 - ※詳細は『水泳指導教本』をご覧ください。
- 8 受講受験資格及び免除規定
 - (1) 検定試験当日満18歳以上の者。ただし高等学校(専門学校含む)最終学年における17歳の者も特例として認めます。
 - (2) 免除希望者は、別紙1「免除規定」により申込時に手続きをしてください。
なお講習のみが免除になります。ただし参加経費については免除になりません。
 - (3) 講習・実習すべてを終了しないと受験できません。
 - (4) テキスト本は、(公財)日本水泳連盟編『水泳指導教本(改訂第2版)』で、発行は(株)大修館書店です。事前に購入してください。
- 9 家庭学習におけるレポートの提出

別紙2、により受講申込と同時にレポート(家庭学習)の提出が必要です。
なおレポートの提出がない場合は受付できません。
レポートも採点の対象ですので、不合格の場合は受験できませんのでご注意ください。
- 10 検定試験内容
 - 学 科 ①水泳と生活・歴史 ②水泳の科学 ③水泳指導者・水泳指導法
 - ④水泳の管理と安全対策 ⑤競泳競技規則と審判法
 - 実 技 ①100m個人メドレー 制限タイム：男子1分40秒以内・女子1分50秒以内
 - なお36歳から、1歳につき1秒加算します。

- ②横泳ぎ 20mを12あおり以内 ③潜行 男子20m・女子15m
④心肺蘇生

■面接

11 開催要項請求期間及び方法

- (1) 請求期間 平成29年6月10日(土)～30日(金)
(2) 請求方法 返信用封筒(長形3号封筒に92円切手を貼付し、ご自分の住所・氏名を記入したものを同封のうえ、「基礎水泳指導員開催要項請求」と朱書きし(一財)北海道水泳連盟普及委員会宛に請求する。
(3) 北海道水泳連盟新ホームページにも要項を掲載しています。

アドレス <http://hokkaido.swim.or.jp>

12 提出書類

- (1) 講習会検定試験申込書
必要事項を記入し、写真(縦3.5cm, 横2.5cm, 証明書用, 無帽, 無背景, 裏面に氏名を記入)及び「郵便振替払込受領書」の写しを貼付し、下記申込先まで郵送のこと。
なお封筒の表には「基礎水泳指導員検定申込」と朱書きのこと。

(2) 受験票(氏名を記入し写真を貼付)

(3) 家庭学習レポート(5科目)

(4) 返信用封筒

長形3号封筒に92円切手を貼り、自分の住所・氏名・郵便番号を記載したもの。

13 参加料 30,000円(受講料22,000円、受験料8,000円)

- ・振込先 ゆうちょ銀行
- ・加入者名 (財)北海道水泳連盟
- ・口座記号番号 02720-9-1911

※通信欄には、必ず「基礎水泳指導員参加料」と記入してください。なお一度納入した参加料は返金できません。予めご了承ください。

14 申込期間 平成29年7月1日(土)～25日(火)

15 申込先 〒062-0905 札幌市豊平区豊平5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内
(一財)北海道水泳連盟普及委員会 宛

16 定員 40名

17 その他

- (1) 健康管理上、医師による健康診断を受診し、スポーツ安全保険等に参加すること。
(2) 受講・受験者には申込受付後、受講受験票等を送付します。

18 担当 不明な点は下記までご連絡ください。

(一財)北海道水泳連盟普及委員会 委員長 吉田 博之

携帯電話 090-1528-1677

平成29年度基礎水泳指導員養成講習会・検定試験日程表

◆：講義 ◇：実技 ★：実習

日 時	8月11日(金) 講習会	8月12日(土) 講習会	8月13日(日) 講習会	11月4日(土) 講習会	11月5日(日) 検定試験	日 時
8:45		集合・受付	集合・受付		集合・受付	8:30
9:00	集合・受付	★水泳指導法	◇各種泳法		実技検定	8:45
9:45	開講式	・個人指導法	4泳法の基礎	集合・受付		9:00
10:00	◆水泳と生活・歴史	・集団指導法		◇心肺蘇生		9:45
11:00	◆水泳の管理と安全対策					10:00
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩	11:00
13:00	◆水泳指導者・水泳指導法	◇各種泳法 4泳法の基礎	◇各種泳法 潜行	◇各種泳法 ・100m個人 メドレーの 実践技術	学科検定	12:00
14:00				・4泳法の実 践技術		13:00
15:00	◆競泳競技規則と審判法		面接		心肺蘇生 検定	14:00
16:00	◆水泳の科学					15:00
17:00						15:30
18:00	◇心肺蘇生	◇横泳ぎ		◇横泳ぎ		16:00
19:00						17:00
20:00						18:00
						19:00
						20:00

平成29年度(公財)日本水泳連盟公認基礎水泳指導員養成講習会並びに検定試験申込書

		受験番号				
ふりがな					性別	写真貼付欄 3.5c×2.5cm
氏名					男 ・ 女	
生年月日	西暦					年齢
	19	年	月	日生	歳	
住所	〒 —					
	☎ — —					
勤務先 及び 在学名						
主たる水泳 競技歴 (マスターズ は除く) 指導歴						
参加同意書	本事業の参加にあたり、健康診断等により健康であり、また自己の責任に基づく事故発生の場合は、自己の責任において処理します。					
	氏名				印	
<p>《検定料の郵便振替払込受領書写しの添付欄》</p> <p>郵便振替の払込受領書の写しを ここの枠内に貼ってください。 (貼付のない場合は、受付出来ません。)</p>						

受 験 票

受験番号 _____

(ふりがな) 氏 名
検 定 試 験 日
平成29年11月5日
検 定 試 験 会 場
札幌市平岸プール

写真貼付欄 3.5cm× 2.5cm

(一財) 北海道水泳連盟 印

切り取り線

領 収 書

平成29年7月 日

No. _____

様

¥30,000円

但し、基礎水泳指導員受講料・受験料として上記金額領収しました。

(一財) 北海道水泳連盟 印

基礎水泳指導員講習の免除規定

<p>1. 基礎水泳指導員資格を目指す者 対象競技：競泳、飛び込み、水球、シンクロ、OWS</p>		
区分	免除対象者	免除内容
ア	<p>◆（公財）日本水泳連盟が選考した国際大会出場者 ①オリンピック ②世界選手権大会 ③アジア大会 ④パンパシフィック大会 ⑤ユニバーシアード大会 ⑥ワールドリーグ大会</p> <p>◆国内大会 ①日本選手権②国民体育大会③日本学生選手権大会 ④日本高等学校選手権大会 ⑤日本短水路選手権大会</p>	<p>(実技講習免除) ・基礎及び実践技術 個人メドレー 15時間</p>
イ	<p>日本赤十字社 ①水上安全法指導員 ②救助員資格保持者 ③救助法指導員 ④救急員資格保持者</p> <p>消防機関 ⑤消防上級救命講習修了者 ⑥上記の指導に当たる資格保持者</p>	<p>(実技講習免除) ・心肺蘇生法 4時間</p>
ウ	<p>(公財) 日本水泳連盟 日本泳法 ①「錬士」以上の保持者</p>	<p>(実技講習免除) ・横泳ぎ(日本泳法) 3時間</p>
<p>2. コーチ資格への受講を条件とする者 対象競技：競泳、飛込、水球、シンクロ、OWS</p>		
エ	<p>◆（公財）日本水泳連盟が選考した国際大会出場者及び選手を育成した監督・コーチ ①オリンピック ②世界選手権大会 ③アジア大会 ④パンパシフィック大会 ⑤ユニバーシアード大会 ⑥ワールドリーグ大会</p> <p>◆国内大会 日本選手権大会において8位入賞以上の出場者及び選手を育成した監督・コーチ</p>	<p>審査の上、基礎水泳指導員講習及び検定を免除する</p>

(注) 対象者は、申し込み時点で区分に該当している者。

(講習・検定試験申し込み後に、新たに対象者になっても免除はしない。)

平成29年度（公財）日本水泳連盟公認基礎水泳指導員養成講習会
家庭学習事前レポートの提出について

開催要項、No.9で記載のとおり受講申込と同時にレポートの提出が必要です。
指定の原稿用紙を使用し、800字の場合は両面、400字の場合は表面です。必要枚
数をコピーし下記の課題により、提出して下さい。

記

- 1 水泳と生活・歴史
 - ・課題『水泳の歴史』（水泳の起源と発展、日本の水泳・世界の水泳）について記載
しなさい。 800字以内 （水泳指導教本P17～29）

- 2 水泳指導者・水泳指導法
 - ・課題『水泳指導法』（準備運動・整理運動）について記載しなさい。
400字以内 （水泳指導教本P117～122）

- 3 水泳の管理と安全対策
 - ・課題『水泳の管理』について記載しなさい。
800字以内 （水泳指導教本P49～64）
 - ・課題『水泳事故』について記載しなさい。
400字以内 （水泳指導教本P108～116）

- 4 個人・集団の指導実習
 - ・課題『指導の考え方と基本的原則』について記載しなさい。
800字以内 （水泳指導教本P40～47）

以上4教科5科目です。この家庭学習レポートを提出することにより、検定試験が受験
できます。またレポートが不合格の場合は、再提出を認めます。指導教本は、あくまで
も参考図書として使用して下さい。自分の考えを自分の言葉で書いて下さい。
なおレポートが不合格で、受験できない場合は、受講料等を返金いたします。

平成29年度基礎指導員家庭学習報告書

○基礎水泳指導員

◎下記課題に関し指定された字数にまとめ、記入しなさい。

No. 1

課題 _____ 提出日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受講者記入欄				初回提出		合	否
氏 名		受験番号		再提出		合	否
住 所	〒 _____ TEL _____			採点者 _____			

※必ず所定の用紙を使用し、横書きとし文字は枠内に自筆で記入すること。

基礎水泳指導員講習指導実習計画書

受講受験 番号		氏 名	
------------	--	-----	--

- ・指導月日 平成29年8月12日(土)
- ・指導対象 小学生(初心者・第4段階) 受講受験番号奇数の者
小学生(初心者・第6段階) 受講受験番号偶数の者
 指導対象区分は、後日送付する各自の受講受験番号により記載してください。
 指導教本 P133 参照
- ・参加人数 15人程度

	指 導 内 容	指 導 の 要 点	指 導 上 の 留 意 点
導 入	準備体操		
展 開			
整 理	整理体操		

※各自指導実習をしますので、8月11日(金)の初日の受付時に必ず提出して下さい。
 実際の指導は展開の部分だけ行ないます。